

## 茂原駅、木更津駅、成田駅の「ローカウターの見直し」 (びゅうプラザの閉店) に関する申し入れを行う!

地本は、茂原駅・木更津駅・成田駅の「ローカウターの見直し」の提案を支社より受けました。

今回の3駅は、2013年にみどりの窓口業務とびゅうプラザ業務の両方が出来る「営業のプロ」を育成する施策として労使議論を経て、一つの窓口で乗車券類や旅行業商品を発売する融合店舗として運営してきました。組合員は慣れない業務を担いながら、今日まで「営業のプロ」として、東日本地域の観光流動収入確保のために奮闘してきました。

しかし、旅行業部門は店舗を介さないインターネット商品の台頭により、びゅうプラザの店舗取り扱い収入は減少が続いています。千葉支社はお客さまのご利用状況を勘案してローカウターを見直すとされていますが、職場からは将来への不安の声が出されています。

地本はこの間施策を担い、職場で奮闘している組合員の負託に応え、安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場を創り上げるために下記のとおり申し入れました。今後、団体交渉を行います。

### 【申し入れ項目】

1. 茂原駅、木更津駅、成田駅のローカウターの見直しの目的と根拠を明らかにすること。また、働きがいのあるびゅうプラザ及び旅行業部門を構築するため、今後の具体的展望を明らかにすること。
2. 2013年度千地申第13号により育成してきた「営業のプロ」について、現在の到達点と今後の考え方について明らかにすること。
3. 施策実施後、平成30年度下期びゅう商品、受託商品の取り扱い方を明らかにすること。また、お客さまへの周知をどのように行うのか明らかにすること。
4. 茂原駅、木更津駅で手配している主催団体の取り扱いについて、本施策実施後の取り扱い方および取り扱い者の育成をどのように行うのか明らかにすること。
5. 施策実施に伴うお客さまからの苦情に関しては、会社が責任をもって対応すること。
6. 販売体制強化、サービス向上の観点から、ハイカウンターを2窓にすること。また、カウンターの形状、マルス端末、POS端末、現金管理機の配置、ローカウターの跡地利用は組合員の意見を聞き、組合員が働きがいをもてるレイアウトとすること。
7. 木更津駅についてはカウンター下の配線を整理し、床材が老朽化しているため交換すること。
8. ローカウターの見直しに伴い異動が発生する場合は、育児や介護、通勤事情などの組合員の特情を考慮し、本人希望を最大限尊重して行うこと。
9. 施策実施後、問題が発生した場合は労使で協議し改善すること。



**融合店舗を担った旅行業の仲間の努力が報われる  
よう、職場の声に基づき団体交渉を行います!**